

# 壇の岡

一つをじっくり

「今年はいくつと、あれに挑戦したい。」いろいろな抱負がふつふつと心に浮かんでいきます。しかし、昨年を振り返れば、年明け最初に挑戦したいと思っただけを、〇〇として、自分がそのうち何割できたのか、後悔することもあれば、うれしがうまくいってれば、こんなふうに進む予定だったかなど。やりたいことが多かった学生時代に先生から言われた一言を今でも忘れません。

「一つのことのできないで、他のことが出来るんですか。」

「やりたいことはたくさんあるのに、取り組んでほしいです。」

「一年は三百六十五日です。週に直すと五十二週です。五教科を一周間で終わらせて行くようにする」と一教科は五十二回しか勉強できません。「五十二回も!!」と思うまでもありませんが、各教科とも得意な単元・一回で理解できない単元もあります。また、時間をかけた単元もできてきます。いかにか長期の計画が大切かわかると思っています。進路実現のためにも、『家庭学習』じっくり丁寧に実践してほしいです。

## 頑張った スペリングコンテスト

10日(金)にスペリングコンテストが実施されました。スペリングコンテストは、東西しらかわ全体的に中学校が同時期に英語や英作文問題で八〇点以上の合格を目指して、昨年の11月から朝の学習を活用し、毎朝20問前後のテスト、定期的なプレテストなど地道に計画的に取り組んできました。プレテストから本番までは、点数・合格率ともに大きく向上しました。大変素晴らしい結果です。努力の跡が見られたスペリングコンテスト

## 継続は力なり

○各学級で、合格目指して男女問わず、**教え合い・助け合い・励まし合う**姿が随所に見られました。

○もう一歩(あと数点)で合格の生徒が多かったです。この悔しさや次に活かしてほしいです。

○配付された練習プリントは、50枚を優に超えています。この取り組みは、今後の学習に必ず活かされるでしょう。

## 教育目標

学ぶ心  
よく学び自己を高める生徒

美しい心  
心豊かで思いやりがある生徒

強い心  
心身を鍛えたたくましい生徒

## 3年生へ 備えあれば憂い無し

とうとう受験の時がやってきました。『じゅけん』は、(試験)を受けるのではなく、高校の先生の『検査』を『受』けることです。『受検』とも書けます。

高校三年間の学習や部活動、その他の活動についていけるかどうか、ということについて検査を受けるのです。

①学力検査  
②面接

それぞれ検査で、確実に実力が発揮できるように準備をしていく必要があります。

①学力検査はどうですか。自分が受ける高校の出題形式、傾向など(過去3年間)調べてありますか? **福島県高校入試問題集**や**先週行った入試予想問題(第6回実力テスト)**の**解答解説にヒント**が書かれています。ぜひ参考にしてください。

また、苦手な教科や解らない問題をそのままにしませんか。ぜひ質問集を持って各教科の先生方に質問にきてください。我々教師は質問にきちんと答えたい。どうか先生方を活用してください。

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。



②面接で、自分の言葉で自分の考えを伝えることができますか。

「面接ガイド」「過去問(卒業生が残してくれた、面接で尋ねられた質問事項をまとめたもの)」「冊子を配付してあります。機会があれば、ご家庭でも『志願理由は?』『高校3年間で頑張りたいことは?』『中学校の思い出は?』『将来の夢は?』など面接の練習をしていただければと思います。

人生の先輩たちは、言っています。**『備えあれば憂い無し』**

### 週の行事予定

24	23	22	21	20
金	木	水		月
2年AED講習 専門委員会	1年思春期保健講座	進路対策委員会 NO部活動デー		職員会議 部活動中止